別紙３

研究に関する情報公開

札幌医科大学保健医療学部作業療法学科第二講座では、札幌医科大学倫理審査委員会および札幌医科大学長の承認を得て、下記の研究を実施いたします。

「札幌市におけるチームオレンジの実態把握と効果検証」
についてのご説明

【研究責任者・分担者】

本研究は、以下の組織により構成されています。

研究責任者

池田　　望（札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科 作業療法学第二講座・教授）

研究分担者

横山　和樹（札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科 作業療法学第二講座・講師）
下木原　俊（札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科 作業療法学第二講座・訪問研究員）
宮嶋　　涼（札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科 作業療法学第二講座・訪問研究員）
山　　功恭（札幌医科大学大学院 保健医療学研究科 博士課程後期・大学院生）
島田　清貴（札幌医科大学大学院 保健医療学研究科 博士課程後期・大学院生）
小林　将幸（札幌医科大学大学院 保健医療学研究科 博士課程前期・大学院生）

【研究の意義・目的】

札幌市では、令和６年度より地域包括支援センターにチームオレンジが整備されつつあります。チームオレンジとは、認知症と思われる初期の段階から、心理面・生活面の支援として、市町村がコーディネーターを配置し、地域において把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と支援者（認知症サポーター等）をつなぐ包括的支援の総称です。チームオレンジを構成するそれぞれの立場における、チームオレンジの効果が明らかになると、チームオレンジに参画する社会的意義を強調することが可能となります。そこで、本研究では、札幌市が開始したチームオレンジによる包括的支援の実態を明らかにすること、チームオレンジによる包括的支援が、参加者やその家族にどのような効果をもたらしたのか検討することを目的としています。本研究の結果は、チームオレンジを効率的かつ効果的に運営すること、認知症の普及啓発や医療費・介護費の削減などにもつながり、認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる地域共生社会に役立つと考えています。

【研究実施施設】

札幌医科大学保健医療学部作業療法学科　/　札幌市地域包括支援センター

別紙 3

【研究対象】
2024 年 4 月から 2032 年 3 月 31 日までの期間に、札幌市の地域包括支援センター（27 か所）が提供するチームオレンジの活動に参加された方を対象とします。

【研究内容】
チームオレンジに参加された皆様の性別、年齢、居住形態、病歴、要介護度、利用中の介護サービス、生活機能チェックリストなどの情報について、オレンジコーディネーターが保有する既存情報より収集し、チームオレンジ参加による効果を検証します。なお、これらのデータは参加者の皆さまがチームオレンジに参加された際にオレンジコーディネーターより収集されている既存のデータを用いた研究ですので、参加者の皆さまへの追加の調査や費用負担は生じません。

【個人情報の管理】
本研究では、個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとっております。また、本研究の実施過程およびその結果の公表の際は、参加者の皆さまを特定できる情報は一切含まれません。また、データの保存や処理を行うコンピュータは、情報漏洩を防止するために研究責任者と分担者のみが取り扱い、部外者には一切公開しません。なお、使用するためのコンピュータは定期的にアップデートし、ウイルス対策ソフトを更新することによりデータ管理を厳重に行います。 研究データが保存されているハードディスクは施錠できる保管場所に収納し、研究責任者および分担者のみが鍵の管理を行い、部外者には一切取り扱いができないようにします。

【研究結果の公表】
本研究で得られた研究結果については、関連学会での発表や学術雑誌へ投稿することを予定しています。また、札幌市介護福祉課の協力を得て、行政および一般市民向けに報告書を作成する予定です。研究結果の報告および論文化に関しては、研究に携わった研究者の氏名のみが公表され、参加者の皆さまが特定できるような個人情報は公開しません。なお、本研究は、現時点では特定されない将来の研究のために用いられる可能性があります。研究で得られたすべての情報は、当該研究結果の最終公表（論文等での発表）から 10 年間保管します。当該保管期間の後、保管されたデータは復元できないように処理した上で破棄いたします。

【本研究に関する費用負担について】
2024 年 4 月から 2032 年 3 月末までの期間、札幌市の地域包括支援センター（27 か所）で開催されるチームオレンジの活動に参加された方からデータの提供をいただくた

め、通常のチームオレンジの活動以上に皆様に費用をご負担いただくことはありません。

【本研究にかかる研究資金および利益相反について】

本研究は、札幌市からの受託研究費ならびに札幌医科大学の研究費で実施されます。他に企業や組織からの資金源の供給はないことから、利益相反はありません。

【本研究に際しデータの提供をご希望されない場合について】

2024 年 4 月から 2032 年 3 月 31 日までの期間に札幌市の地域包括支援センターが提供するチームオレンジの支援を受けられた方の中で、本研究へのデータ提供をご希望されない場合については、下記までご連絡頂けますようお願い申し上げます。ご連絡頂いた方に関わる研究結果を破棄いたします。その場合でもチームオレンジへの参加における不利益が生じることは決してありません。ただし、ご連絡頂いた時点で既に研究結果が学術大会や論文などに公表されている場合や研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からデータを取り除くことは出来ず、研究参加を取りやめることができなくなりますので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

研究実施責任者連絡先

氏名：池田 望
所属：札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科 作業療法学第二講座 教授
住所：〒060-8556 札幌市中央区南 1 条西 17 丁目
電話：011-611-2111（内線 28860）
Mail：ikedan@sapmed.ac.jp（夜間・休日は Mail のみで受け付けます）

研究実施分担者連絡先

氏名：横山 和樹
所属：札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科 作業療法学第二講座 講師
住所：〒060-8556 札幌市中央区南 1 条西 17 丁目
電話：011-611-2111（内線 28870）
Mail：k.yokoyama@sapmed.ac.jp（夜間・休日は Mail のみで受け付けます）